

学部・大学院の教育研究上の目的

医学部

医学部では、以下の順天堂大学医学部の教育目標に沿って設定された各年次のカリキュラムを履修し、かつ各年次で定める基準に合格し、以下の資質・能力を身に付けた者に対し学士（医学）の学位を授与します。

- (1) 科学的根拠に基づいた医学・医療を行うための体系的な知識と確実な技術・技能が身に付いている。
- (2) 常に進歩する医学・医療を生涯にわたってアクティブに自学自習する不断前進の態度・習慣が身に付いている。
- (3) 常に相手の立場に立って物事を考え、高い倫理観を持ち、人間として、医師・医学者として他を思いやり、慈しむ心（学是「仁」）が涵養されている。
- (4) チーム医療・研究を円滑に遂行できる能力と習慣が身に付いている。
- (5) グローバル化する国際社会における諸問題に多面的な視点から対処し、解決できる能力と未来を切り開く人間性溢れる豊かな教養が身に付いている。

スポーツ健康科学部

スポーツ健康科学部は、学是である「仁」の精神に基づき、スポーツと健康に関連する専門的知識と技能の修得、及びその実践的な応用力の涵養を図る。これをもって心身ともに健やかで活力ある社会の構築と先導を担う、高い倫理観を兼ね備え、創造性豊かな人材を育成することを目的とする。そのために、以下の目標を定める。

- (1) スポーツ科学科では、アスリートの競技力向上及び人々の健康・体力づくりに適切な運動プログラムの開発、系統的・段階的な指導技術に必要な基礎知識と技能を修得する。
- (2) スポーツマネジメント学科では、スポーツを客観的・多角的に分析する基礎知識と習慣を身につけ、スポーツをコアとして国際的に通用する実用性・創造性の高いマネジメント力を修得する。
- (3) 健康学科では、健康に関わる科学的な基礎知識と実用性に富んだ技能を身につけ、障害者（児）を含む人々の健康づくりと健康支援に必要な基礎知識ならびに技能を修得する。

医療看護学部

医療看護学部は、学是である「仁」の精神に基づき、安心・安全で質の高い看護を提供し、さらに高度先進医療の一翼を担うことができる高い倫理観を兼ね備えた看護職者（看護師・保健師・助産師）の育成を目指すことを目的とする。そのために、以下の目標を定める。

- (1) 看護に関する確実な知識・技術を身につけ、身体のみならず心を癒す質の高い看護が実践できる看護実践能力を修得する。
- (2) 次世代の看護職者として国際的に通用し、広く保健・医療・福祉の分野において活躍できる能力を修得する。

保健看護学部

保健看護学部は、学是である「仁」の精神に基づき、チーム医療の一翼を担う優れた看護実践力をもつ心温かな看護職者及び地域の人々の保健衛生・健康保全に貢献する国際性豊かで、高い倫理観を兼ね備えた保健看護職者を養成することを目的とする。そのために、以下の目標を定める。

- (1) 科学的根拠に基づいた看護基礎能力を身につけ、心身を癒す看護実践能力を修得する。
- (2) 進歩・変化著しい保健・医療・福祉分野を総合的に理解し、創意工夫する態度・習慣を身につける。

自ら健康維持増進に留意し行動的に学習し、国際的に活躍できる素養を身につける。

国際教養学部

国際教養学部は、学是である「仁」の精神に基づき、グローバル化時代の国際社会に貢献できる能力の開発を目指し、グローバリゼーションの時代にふさわしい国際教養を備え、多角的な視点を養い、論理的な思考力と分析力、実行力を身に付け、強い自立心と倫理観、問題解決能力を身に付けたグローバル市民を育成する。そのために、以下の目標を定める。

- (1) グローバル市民として英語等外国語によるコミュニケーション能力を修得する。
- (2) 国際社会で幅広く活躍するベースとなる国際教養を理解し、身に付ける。
- (3) 国際社会の課題解決に取り組む意欲に溢れ、人間味豊かな人格を培う。

大学院医学研究科

医科学専攻（修士課程）

修士課程は、医学以外の教育を受けた学生を受け入れ、医学・生命科学・医療学の知識を系統的に修得できるカリキュラムのもと、創造的で幅広い視野を持ち、生涯にわたって医科学と向き合う姿勢、能力を涵養する教育、研究の場であり、本学の学是「仁」の精神一常に相手の立場にたって物事を考え、他を思いやり、慈しむ心を兼ね備えた“志高き医学・医療の研究者・高度専門職業人”を育成することを教育研究上の目的とする。

医学専攻（博士課程）

博士課程は、医学を人間に関する総合科学と位置づけ、不断前進する医学的知識・技術を理解、実践し、更にはこれを自ら更新する能力を修学する教育・研究の場であり、常に相手の立場にたって物事を考え、人間として、あるいは医学者として他を思いやり、慈しむ心、これ即ち学是、「仁」の心を兼ね備えた医学・医療の指導者・実践者を国際的レベルで育成する教育研究の拠点である。このような基本理念に立脚して、生涯にわたって医学と向き合う姿勢をもった基礎医学者と臨床医学者、あるいはその両方を兼ね備えた Physician-Scientist、究極的には心身共に病める人々を救済する“志高き医師・医学者”を育成することを教育研究上の目的とする。

大学院スポーツ健康科学研究科

スポーツ健康科学研究科は、本学の理念のもと、スポーツと健康の科学的研究と高い倫理観に基づき、人々の健康で文化的な生活形成に貢献できる実践的かつ創造的な人材を育成することを目的とする。

- (1) 博士前期課程（修士課程）は、スポーツの科学的基礎、社会科学的価値ならびにヘルスプロモーションの考究に関わる学習と研究を通して、その成果を人々の健康や体力の維持・向上及びスポーツの社会的発展に体系的に応用できる実践的・理論的根拠を身につけた人材の育成を目的とする。
- (2) 博士後期課程（博士課程）は、スポーツと健康の科学に関する知の修得と創造に貢献する研究と教育を通して、独創的かつ先端的な研究を独立して行うことができ、その成果をスポーツ健康科学の発展に応用できる高度な専門家・指導者の育成を目的とする。

大学院医療看護学研究科

医療看護学研究科は、学是である「仁」の精神に基づき、国内外を問わず多様な場で社会貢献できる高度な看護実践能力をもち、看護学のあり方を探求することのできる人材の養成を目的とする。

- (1) 博士前期課程では、環境の変化に対応でき科学的根拠に基づいた高度な看護実践能力を発揮できる看護専門職者、看護学の成立基盤を基に看護学分野の新たな方法論の開発や展開ができる教育者・研究者を志向する人材を育成する。
- (2) 博士後期課程では、看護学を探求できる能力を有し、研究成果に基づいた質の高い医療・看護を人々に提供できる判断力と実践能力を身に付けた看護専門職者の教育を行うための教育者・研究者及び科学的視点を持った高度実践看護職者を育成する。